

## 小委員会の調査報告書

教科名	図画工作	委員長名 源 田 謙 一
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月13日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、図画工作小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月14日(水)から7月11日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月12日(水)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、開隆堂、日文の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他		

教科名		図画工作				
取扱内容、内容の構成・排列	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	開隆堂	わくわくするね・みつけたよ	105 106	日本文教出版	まるごとたのしもう	107 108
		できたらいいな・力を合わせて	305 306		ためす見つける	307 308
	心をひらいて・つながる思い	505 506		わたしとひびき合う	507 508	
	<p>○造形遊びをする活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。第1・2学年では、砂や土を掘って触り心地を味わったり、落ち葉などの自然の材料を集めて並べたりすることで創造的につくったり表したりする。また、紙などの人工の材料に働きかけたり、表し方を工夫したりすることで手の感覚や色彩感覚を養うことができる内容になっている。第3・4学年では、段ボールやビニール袋を使って造形的な活動を行う。また、自然物や人工の材料を使い、身近な場所に働きかけたり表し方を工夫したりすることで、造形的な活動を思い付くことができる内容になっている。第5・6学年では、自然物や場所の組み合わせを工夫したり、ビニールひもや光、空間の特徴をいかしたりすることで、創造的な活動を思い付くことができる内容になっている。</p> <p>○絵や立体、工作に表す活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。第1・2学年では、クレヨンや絵の具、粘土や箱などを使い、表したいことを見つけ、進んで表す力を養うことができる内容になっている。第3・4学年では、絵の具や粘土、段ボール、使われなくなった服や布などを使い表したいことや用途を考える活動を行う。また、のこぎりで切った板を組み合わせて使えるものを作ったり、釘打ちの心地よさを味わったり用途を考え工夫することができる内容になっている。第5・6学年では、絵の具や粘土、針金などを使い、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したいことを見付ける内容になっている。また、タブレットの機能を活用し、表し方を広げる活動も取り入れている。</p> <p>○鑑賞する活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。第1、2学年では、好きなものを描いた絵や大切にしている宝物を見せ合ったり形や色などに気づいたりする活動を通して、話し合ったりする活動を楽しむ。第3、4学年では、作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考えて形や色の特徴に気づいたり、作品の形や色から感じ取ったことについて考え、作品の良さや形や色の工夫に気づいたりする活動を通して、想像を広げたり味方や感じ方の違いを楽しむ。第5、6学年では、町の作品から想像して味方や感じ方を深め形や色の特徴に気づいたり、墨や筆の色々な技から水墨画の特徴に気づいたりする活動を通して、互いの感じ方のよさや違い、墨や筆の技を味わったり楽しむという内容になっている。</p> <p>○〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。第1、2学年では、粘土でどんなことができるか考えてつくったり、紙や紙製品を使って飾るものや遊ぶものをつくったりする活動を通して、形や色などを基に、自分のイメージをもつ活動。第3、4学年では、絵の具にまぜる水の量を変えて描き方を工夫して絵に表したり、切った箱の形や組み合わせた形からつくりたい飾りを考えたりする活動を通して、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ活動。第5、6学年では、季節から感じたイメージを絵に表したり、板材を加工して生活が楽しく便利になるものをつくったりする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ活動が扱われている。</p>		<p>○造形遊びをする活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。第1・2学年では、砂や土を掘って触り心地を味わったり、落ち葉などの自然の材料を集めて並べたりすることで創造的につくったり表したりする。また、紙や段ボールなどの人工の材料に働きかけたり、表し方を工夫したりすることで手の感覚や色彩感覚を養うことができる内容になっている。第3・4学年では、段ボールや毛糸を使って造形的な活動を行う。また、自然物や人工の材料を使い、身近な場所に働きかけたり表し方を工夫したりすることで、造形的な活動を思い付くことができる内容になっている。第5・6学年では、自然物や場所の組み合わせを工夫したり、毛糸や光、空間の特徴をいかしたりすることで、創造的な活動を思い付くことができる内容になっている。</p> <p>○絵や立体、工作に表す活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。第1・2学年では、クレヨンや絵の具、粘土や箱などを使い、表したいことを見つけ、進んで表す力を養うことができる内容になっている。第3・4学年では、絵の具や粘土、段ボール、布などを使い表したいことや用途を考える活動を行う。また、のこぎりで切った板を組み合わせて使えるものを作ったり、釘打ちの心地よさを味わったり用途を考え工夫することができる内容になっている。第5・6学年では、絵の具や粘土、針金などを使い、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したいことを見付ける内容になっている。また、タブレットの機能を活用し、表し方を広げる活動も取り入れている。</p> <p>○鑑賞する活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。第1、2学年では、色々なものを触った触り心地を見つけたり、身の回りのでこぼこ面白さについて話し合ったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。第3、4学年では、色々な葉を見比べ葉の色のおもしろさを感じ取ったり、美術作品の人物の動作を真似して感じたことを友達と交流したりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。第5、6学年では、美術作品から感じたことや思いついたことを話し合ったり、身近なものや伝統的な模様よさや美しさを味わったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取るという内容になっている。</p> <p>○〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。第1、2学年では、紙を切って色々な形をつくって教室に飾ったり、毎日の生活で心に残っていることを絵に表したりする活動を通して、形や色などを基に、自分のイメージをもつ活動。第3、4学年では、絵の中に思わず顔を出したくなるパネルを考えて作ったり、切った木を組み合わせを工夫して家など思いついた形に表したりする活動を通して、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ活動。第5、6学年では、様々な色や強さの光を当てて美しい空間を作ったり、糸を使って場所にあるものと組み合わせで糸がつくる空間を表現する活動を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ活動が扱われている。</p>			

<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。第1, 2学年では、箱と箱を組み合わせて立体に表す活動、身近な自然を材料に使用して造形遊びをする活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫。第3, 4学年では、枝を材料に使った造形遊び、身の周りで出会う花を絵に表す活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫。第5, 6学年では、学校のお気に入りの場所を絵に表す活動、ビニルひもを使った造形遊びをする活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、次のようになっている。第1, 2学年では、「造形遊びをする活動」が16ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が73ページ、「鑑賞する活動」が12ページであり、総ページは130ページで前回より約11%増となっている。第3, 4学年では、「造形遊びをする活動」が12ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が72ページ、「鑑賞する活動」が16ページであり、総ページは130ページで前回より約11%増となっている。第5, 6学年では、「造形遊びをする活動」が8ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が68ページ、「鑑賞する活動」が24ページであり、総ページは132ページで前回より約12%増となっている。(判型は全てA4判)</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容の取扱については、次のような学習活動が取り上げられている。題材系統表から学習指導要領の資質・能力＝「知識及び技能」「思考力・判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」について、低学年～中学年～高学年に渡って吟味され、内容として育てたい力がバランス良く構成されている。</p> <p>造形遊び、絵や立体に表す、工作に表す、観賞の領域に、「形や色、方法や材料を知って工夫する力」「はめたり、見つけたりして、考えたり、思いついたりする力」「心を開いて楽しく活動し、友達とかかわり、協力し合う力」をバランス良く構成され取り扱われている。</p>	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。第1・2学年では、砂や造形遊び、身近な自然を観察する活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫。第3, 4学年では、ひもを使った造形遊び、段ボールを使った立体に表す活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫。第5, 6学年では、日常的に使用する道具に形や色を施す工作や、自然を感じる造形遊びの活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、次のようになっている。第1, 2学年では、「造形遊びをする活動」が18ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が54ページ、「鑑賞する活動」が42ページであり、総ページは132ページで前回と同数となっている。第3, 4学年では、「造形遊びをする活動」が8ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が60ページ、「鑑賞する活動」が41ページであり、総ページは128ページで前回より約10%減となっている。第5, 6学年では、「造形遊びをする活動」が8ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が60ページ、「鑑賞する活動」が38ページであり、総ページは136ページで前回より約10%増となっている。(判型は全てA4判)</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容の取扱については、次のような学習活動が取り上げられている。題材系統表では、5つの分野で構成され、活動のねらい、発想のきっかけ、使用する材料や用具などを考慮し、発達段階とともに学びを深める配列で構成されている。</p> <p>造形遊びをする活動(場所・材料・行為)、絵に表す活動(想像したこと・生活体験から・物語などから・材料や用具から・版に表す)、立体に表す活動(材料や用具から・想像したことから)、工作に表す活動(遊ぶものや仕組みから・飾るや使うもの・伝えるもの)、観賞する活動(身の回りのもの・美術作品)が領域毎に示されており、バランス良く構成され取り扱われている。</p>
<p>使用上の配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○就学前教育や中学校との接続への配慮。</li> <li>○他教科の連携についての配慮。</li> <li>○社会に開かれた教育課程や地域性への配慮。</li> <li>○安全・防災教育への配慮。</li> <li>○環境や共生、SDGsへの配慮。</li> <li>○日本の伝統的な文化についての配慮。</li> <li>○キャリア教育についての配慮。</li> <li>○プログラミング教育への配慮。</li> <li>○カラーユニバーサルデザインに関する配慮。</li> <li>○インクルーシブ教育への配慮。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資源・環境の観点からプラ材を役70%削減。</li> <li>○防災・安全教育</li> <li>○言語活動の充実</li> <li>○伝統文化</li> <li>○多文化共生</li> <li>○情報モラル</li> <li>○特別支援教育に関する配慮</li> <li>○平和・人権・福祉・インクルーシブ</li> </ul>
<p>その他</p> <p>指導者用デジタル教科書に必要な機能として、拡大・縮小、書き込み、履歴保存、特別支援機能などを搭載し、直感的に活用ができるようになっている。</p>	<p>指導者用デジタル教科書(教材)は、評価のポイントを解説した動画や編集可能なワークシート、年間指導計画例が収録されている。</p>